

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 郷右近 英臣 役職 / official position : 准教授

1. 研究テーマ / Research Theme
災害マネジメントのための学理の構築
2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired 研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.
本研究室では、主に自然災害に関連する科学技術研究に取り組み、その過程で以下の能力を身につけることを達成目標とします。 ・社会問題を洞察し、問題の本質を探究する能力。 ・社会問題解決のための仮説を立て、研究課題を設定する能力。 ・対象とする研究課題に対し、その遂行の方法を考え、実践する能力。 ・実践した研究の評価を行い、自身が立てた仮説を評価・検証する能力。 ・自身の考えを他者が理解しやすいように論理的に説明する能力。 ・自身の遂行した科学技術研究の成果を論文としてまとめ上げる能力。
3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle
・問題の本質が何かを考え、効果的な解決策を立案し、周りの人間と協力しながら主体的に問題解決を図っていく人材を輩出することを目指します。 ・研究活動を通じて防災科学技術の基礎理論の発展を目指すとともに、国内外の防災力の強化に貢献することを目指します。
4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities
<input type="checkbox"/> 日次活動： ・ショートミーティング（昼休み 15-20 分程度） <input type="checkbox"/> 週次活動： ・研究室ゼミ（石川・英語、週 1 回） ・研究室ゼミ（石川・日本語、週 1 回） ・研究室清掃 <input type="checkbox"/> 月次活動： ・研究室ゼミ（品川・日本語、月 2 回） <input type="checkbox"/> 不定期活動： ・倫理講習受講 ・個別ミーティング（学生からの要望に応じて随時） ・他大学との合同ゼミ（年 1-2 回） ・研究室内勉強会（石川・プログラミングや画像処理技術など、年 3-4 回） ・学会発表 ・論文投稿 ・被災地調査 ・被災地ボランティア ・合宿（教育活動や社会活動を含む） ・新入生歓迎会・送迎会 ・本学敷地内清掃活動

5. 年間スケジュール / Annual Schedule

本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP 参照：ホーム>教育>履修関係>履修案内)

Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)

4月入学の修士学生が送る2年間のスケジュール例を以下に示します。
博士後期課程進学希望の学生には、修士期間中に国内査読付論文投稿をしていただくことを強く推奨しています。

【2年間のスケジュール例（石川の修士4月入学者の場合）】

(1年目)

1年目 7月

- ・展開配属
- ・研究室合宿

1年目 8-12月

- ・既往研究の調査
- ・研究課題の設定と研究計画書（暫定版）の作成
- ・分析手法の修得

1年目 1-3月

- ・研究データの取得
- ・倫理審査の実施
- ・研究計画書の改善

1年目 3月末

- ・研究計画書提出

(2年目)

2年目 4月

- ・日本学術振興会特別研究員（DC1）の申請書作成

2年目 4-8月

- ・データ分析
- ・国内査読付学会論文執筆（希望者もしくは博士後期課程進学希望者）

2年目 9月

- ・中間発表・フィードバックをもとに研究計画の軌道修正

2年目 10-11月

- ・分析結果の整理
- ・国内査読付学会の発表（対象者のみ）

2年目 12月

- ・修士論文の執筆
- ・修士論文の第1稿を指導教員に提出

2年目 1月

- ・指導教員の論文査読結果をもとに修士論文を修正し、最終提出

2年目 2月

- ・修士論文発表会